

山口大学大学院創成科学研究科 農学系学域 生物資源環境科学分野の
(植物病理学) 教員の公募について

1. 公募の内容

- (1) 職 名 助教
- (2) 人 数 1名
- (3) 所 属 大学院創成科学研究科 農学系学域 生物資源環境科学分野
- (4) 専門分野 植物病理学分野
- (5) 職務内容 山口大学農学部 生物資源環境科学科及び大学院創成科学研究科 農学系専攻では、人類が持続的に豊かな生活を送る環境を作るために、植物や動物を利用した生産経済活動と環境について教育と研究を行っています。
- また、採用後は山口大学中高温微生物研究センター病原微生物部門の一員として、研究活動に参加していただきます。同センターは、地球温暖化に伴う諸問題（化石資源枯渇、食料危機、感染症対策、環境保全、生態系の維持など）を解決する一つの手段として、微生物機能を活用する研究を推進しています。
- 中高温微生物研究センターの概要：
<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~yurctmr/>
- ・植物病原菌の感染機構や植物側の病原体抵抗性に関する基礎研究及び病害防除技術に関する応用研究
 - ・農学部生物資源環境科学科の学生実験、演習、卒業論文指導、及び大学院創成科学研究科農学系専攻学生の修士論文指導等の担当
 - ・共通教育科目の教育業務
 - ・各種委員会委員、及び、その他の業務等
- (6) 担当科目 共通教育科目：生物学 I（分担）、生物学実験（分担）
専門教育科目：植物病原菌学（分担）、植物病学実験（分担）、
生物資源環境科学基礎実験（分担）、卒業論文の指導
大学院科目：植物病理学特論（分担）、修士論文の指導
- (7) 任 期 5年（審査により1回再任可）
- (8) 待 遇 給与等雇用条件は、本学の規定による年俸制を適用

2. 応募要件（全ての要件を満たすこと）

- ①博士の学位を取得（着任後1年以内に取得見込みを含む）していること。
- ②学術論文が2編以上あり、内2編以上は筆頭著者であること。

- ③採用予定年月日の年齢が40歳未満（※）の若手研究者であること。
 - ※ 国の施策である「第6期科学技術・イノベーション基本計画」において掲げられている目標値の達成のため、労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律施行規則第1条の3第1項第3号二に該当するものとして実施します。
- ④農学部生物資源環境科学科及び大学院創成科学研究科農学系専攻の教育研究および運営に積極的に取り組めること。
- ⑤中高温微生物研究センターの研究活動に参画する意欲があること。

3. 採用予定日

令和6年4月1日（月）以降できるだけ早い時期（応相談）

4. 応募の期限

令和5年10月27日（金）17時【日本標準時間】必着

5. 提出書類

（1）履歴書

（写真を添付し、連絡先（住所、電話番号、E-mail アドレス）、学歴、職歴を明記のこと。様式は問わないが、JREC-IN様式を推奨する。）

（2）研究業績

（著書、査読付きの学術論文、その他（査読のない学術論文、総説、紀要、プロシーディングスなど）、学会発表、特許、所属学会、外部研究費獲得実績、各種受賞実績に分けて記載すること。また、学術論文については、可能な限りリンク付きDOIを記載すること。様式は問わないが、参考までに、教員・研究員公募ページ（下記URL）に業績目録の見本を掲載する。）

教員・研究員公募（農学部の欄をご覧ください。）：

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/company/recruitment-teachers/index.html>

（3）主要論文（筆頭著者論文2編以上を含む5編以内）

（4）現在までの研究の概要について（1,000字程度）

（5）今後の抱負について（1,000字程度）

（6）応募者について照会できる方2名の氏名、所属と連絡先（電話番号、E-mail アドレス）。又は、推薦者がある場合には推薦書

6. 選考方法

書類選考のうえ、面接（対面又はオンライン）を実施します。

選考により選出された候補者には、本学においてセミナーを行っていただきます。

なお、審査等にかかる旅費は、自己負担となります。

7. 応募書類の提出先及び提出方法並びに照会先

(1) 応募書類の提出先、提出方法

提出書類を全て PDF 形式の添付ファイルとし、件名に「植物病理学分野助教応募」と記載し、E-mail で下記アドレスに送付してください。E-mail で書類提出後、3 日以内（土日祝日を除く）に受領確認メールが届かない場合には、お問い合わせください。

山口大学農学部総務企画係

TEL (083) 933-5805

E-mail ag293@yamaguchi-u.ac.jp

(添付ファイルは、10MB 以内にまとめて圧縮し、パスワード保護してください。容量が大きい場合は、件名の末尾に（1 / 2）等をつけ、複数回に分けて提出してください。)

(2) 照会先

山口大学大学院 創成科学研究科（農学系学域）

採用選考委員会委員長 執行 正義

TEL (083) 933-5842

E-mail shigyo@yamaguchi-u.ac.jp

8. その他

(1) 応募に係る個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切な取り扱いをします。

(2) 山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第 8 条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。

(3) 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しています。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がいる場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸し出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供するサービスを受けることができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話等を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索